鉄スクラップの日

パネルディスカッション
鉄リサイクル業の劇的な環境変化と未来
panel discussion

日本鉄リサイクル工業会は、6月15日に開催した第8回国際鉄リサイクルフォーラム（テーマ「鉄リサイクルビジネスはよりグローバルに」）の第二部において、「鉄リサイクル業の劇的な環境変化と未来」と題してパネルディスカッションを行った。

パネリストは、斉合環保集団のヘンリー・シン社長、デイヴィス・インデックス社のショーン・デヴィッドソン社長、鉄リサイクリング・リサーチの林誠一社長、韓国鉄鋼協会のシン・グァン・セブ室長、韓国鉄鋼資源協会のリム・スウン・テー会長の5人。コーディネーターは同工業会の安東元吉・国際ネットワーク委員長（青南商事社長）が務めた。

登壇したパネリスト各氏のコメント内容は次の通り。

配合率の伸びで需給均衡見込み

▽ヘンリー・シン社長＝「中国の鉄スクラップ消費量は年間2・2億㌧となり、計画通り増加している。製鋼における鉄スクラップ配合率の高まりもあって、1億8800万㌧が中国の鉄鋼メーカーで使用されている。中国が世界でもっとも鉄スクラップを発生させ、かつ使用している国であることを再確認しておきたい。また、2025年までに中国の鉄スクラップ発生量は2・8億―3億㌧、30年には3・3―3・5億㌧になることが予想されるが、製鋼における配合率も30％まで伸びると考えられ、消費量増加が予想されるため、国内で需給は均衡するだろう。しかし鉄スクラップはグローバル商品であるという認識から、貿易の道を絶ってはならないと考えている中国企業もある。常に国際的な観点を持っていることは重要だ」

業界全体の発展ライセンス化重要

▽ショーン・デヴィッドソン社長＝「リサイクル企業各社がどのような設備や技術をもっているかはもちろん重要だが、ライセンス化することも重要になってくると考える。卓越した組織形態や工程プロセスを備えた企業が、ほかの経営者に教育・共有するようなシステムを構築できれば、業界全体の効率アップ、ひいては発展にもつながるのではないだろうか」

国際的視点・長期的な感覚が必要

▽林誠一社長＝「足元の相場変化は確かに経営を考えるうえでは非常に重要な問題だが、一歩跨み越んで、より国際的な視点をすべての業界関係者が持つべきだろう。グローバル視点・長期的な感覚の2つが事業運営においては必要になってくると考える」

25年自給率100％輸出スタートへ

▽シン・グァン・セブ室長＝「韓国鉄鋼産業の足元の需要は、自動車・建設ともにかなり弱い。鉄スクラップの需要も下がると予想する。韓国の鉄スクラップ自給率に目を向けると、2015年から18年まで3年連続で80％強と横ばいで推移。20年には90％を超え、25年には100％を超えると考えられ、いよいよ鉄スクラップ輸出がはじまるのではないかと言われている。将来を見据えて、すでに港湾整理・品質向上などの準備を始めている」

選別能力増強に投資集まる

▽リム・スウン・テー会長＝「韓国は雑品を中国に輸出していたものの、昨年末に中国が雑品禁輸対応を取り、韓国国内は当惑しているというのが現実。韓国では鉄スクラップは廃棄物に分類されていたが、18年に法律が改正され、現在は廃棄物ではなく資源として扱われる法的な根拠を得た。これによりリサイクルへのさらなる進歩が見込まれる。従来は鉄スクラップの加工・サイジングに注力していたが、いまは選別能力に設備投資をしている企業が多い」

講演テーマ　「中国鉄スクラップ産業 2018年の状況と2019年の展望」

スクラップ大量消費に新たな転換期

中国廃鋼鉄応用協会 副秘書長
フォン・フ・リン氏

冒頭、2018年を振り返り、中国のスクラップの総消費量は同27％増の1・9億㌧に増加した点に触れ「そのうち転炉のスクラップ配合比率は18・6％増、電炉は0・3％増といずれも増加し、全体のスクラップ使用比率は20％だった。鉄スクラップの総消費量、鉄鋼生産における配合量、使用比率の3つの指標は、地条鋼排除後、史上最高レベルに達しており、スクラップの大量消費が新たな転換期に突入しているとみている」と総括。

続いて19年は「価格連動する鋼材価格の維持がカギ」とし、好調が維持されれば鉄鋼メーカーの利益確保によりスクラップ需要は大きく減少しないが、大きな値上がりもないだろうと予測。その理由としてスクラップ価格が上がれば溶銑コストの優位性が高まり鉄鉱石の使用量が増えるためとまとめた。

また現在、中国の電炉メーカーが抱える課題として、転炉製鋼に対し高いコストを指摘。「スクラップの比較的な高値と電気料金の高騰が影響している」としながら「政府は鉄鋼産業における高炉から電炉へ切り替える構造改革を要求している。この実現には電炉製鋼の比率を上げるしかない」と言及。鉄鋼備蓄量は25年に120億㌧になり、スクラップ発生量は3億㌧水準になる見通し。中国においてスクラップ業は巨大な潜在力を秘める産業で、政府は今年7月から鉄スクラップを輸入制限固体廃棄物の管理リストに登録する予定だが、ここから除外できるよう積極的に働きかけている状況だ」と展望と足元の取組みを述べた。

講演テーマ　「鉄スクラップ産業の 2018年の状況と2019年の展望」

メーカー近距離調達続く見通し

韓国鉄鋼協会 室長
シン・グァン・セブ氏

韓国の2019年の粗鋼生産見通しは転炉鋼が前年比0・4％減の4810万㌧と小幅減にとどまるものの、電炉鋼は同3・4％減の2330万㌧に減るとした。土木需要の低迷に加えて住宅建築も減少傾向にあり、建設用鋼材需要の低迷が続くなか「今年1―4月で鉄筋棒鋼類の輸入が前年同期比で30％以上増加している」など輸入製品の増加が電炉生産減につながっている。

鋼材需要減に伴い、韓国の鉄スクラップ需要は同0・9％減の2990万㌧を予想した。一方で韓国メーカーは「コスト削減のため、鉄スクラップ炉前在庫を低水準にしている」ものの、供給面では工場発生スクラップが不足。韓国のスクラップ自給率は15年から3年連続で80％を超えていたが、18年に続き19年見通しはともに80％台を割り込む見通しという。

19年の鉄スクラップの輸入量は653万3000㌧と同1・3％増を想定する。メーカー各社は環境変化に対応しやすい近距離からの鉄スクラップ調達を進める傾向にあり、日本からの輸入が伸びる一方で米国からは大幅に減少しているとし、「このトレンドは続く」との見解を示した。

今後の懸念材料は低品位鉄スクラップの流入増で中国の雑品輸入禁止以降、韓国でもスクラップの品質問題が発生。輸入されたスクラップにダストや非鉄類が混入されるケースが増えていると指摘「われわれが中心となってきめ細やかな管理を進めていく必要がある」とし、今後は「韓国でも輸入スクラップの品質管理が強化されていくだろう」と述べた。

金属リサイクル特集 2019
7月1日は「鉄スクラップの日」 資源循環型社会の発展を支える有力企業

鋳物原材料／機械設備
建築資材
ISO 14001 認証取得
〔営業品目〕
銑鉄・鉄屑、鋳物用原材料全般
鋳造用機械、電気炉、他
ダイカスト亜鉛、投射材
OA床、ブラインド、パーティション
防潮板、ディスポーザーシステム
LED照明、ホロライト
株式会社 エヌテック
代表取締役社長 中野行雄
住所 東京都中央区入船1−4−10八丁堀プレイス4階
TEL03−3553−6011（代表）
FAX03−3553−6013
E-mail:gyoumu@ntek.co.jp
支店 関東、東北、名古屋、大阪　営業所 静岡
http://www.ntek-1945.com/

産業廃棄物処理業（収集・処理）
・環境リサイクル事業:
産業廃棄物処理（鉄鋼スラグ中間処理等）
副資材（コークス・加炭材）・冷却材の販売
鉄スクラップ・非鉄金属の買入・販売
再生骨材の販売
・各種産業機械の製造・販売・レンタル:
ブリケットマシーン「GONZO®」及びブリケット加工
バケットクラッシャー「ガラパスタ®」
各種つかみ機「ツカミーノ®」チルトフォーク等
オシレートスクリーン
株式会社 伊藤商会
代表取締役 伊藤勝盛
・本社:東京都足立区入谷8丁目9番4号
（TEL03-3899-2456　FAX03-3897-9208）
・工場:栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台10番5
（TEL028-677-3850　FAX028-677-3791）
・ホームページ　http://www.ito-shoukai.com

株式会社 上杉物産
代表取締役 上杉剛史
上杉メタル工場
〒314-0111 茨城県神栖市南浜3-206
TEL0299-77-8264
http://www.uesugibussan.co.jp/

鉄屑・銅・ステンレス・アルミ
総合問屋
http://www.scrap.co.jp/
ISO14001認証取得工場
株式会社 潮来工機
代表取締役社長 西谷年弘
本社工場　〒314-0141
茨城県神栖市居切1230番地38
TEL0299-82-0785㈹
FAX0299-82-3774

石井商事株式会社
製鋼原料・非鉄金属
14001
本社工場 埼玉県八潮市鶴ケ曽根943
TEL.048-997-2171㈹　FAX.048-997-1738
高崎工場 群馬県高崎市倉賀野町3018
TEL.027-346-0551　FAX.027-346-0556
鹿島工場 茨城県神栖市東深芝16-29
高性能制振遮音材　太陽光発電システム
すーぱー静香
床・壁・排水管
建物の3つの騒音源を抑えて音のトラブルを解消。
太陽の光エネルギーを電気エネルギーに。
ホームページ http://www.ishii-shoji.co.jp

SUGIMOTO GROUP
千葉製鋼株式会社
ISO14001認証取得
代表取締役社長 杉本義幸
〈本社〉〒121-0815
東京都足立区島根1−2−3
〈事業場〉〒274-0082
千葉県船橋市大神保町1343−2
TEL:047-457-2121 / FAX:047-457-2122
mail:chiba@chibaseikou.co.jp
■製鋼原料（鉄スクラップ・非鉄金属）
□産業廃棄物 収集運搬・中間処理業
□一般廃棄物処分業
■コンクリート廃材中間処理
□再生砕石の販売
■処理困難物
□カブツ・大ガラ・コンクリ付鉄骨受入大歓迎
□レッカー降ろし可

SUGIMOTO GROUP
協和興業株式会社
ISO14001認証取得
代表取締役社長 杉本義幸
〈本社〉
〒121-0815　東京都足立区島根1−2−3
〈事業所〉
〒340-0835　埼玉県八潮市浮塚118
TEL:048-996-0101 / FAX:048-997-2577
http://www.kyowakogyo-kk.co.jp/
再利用できる物に生かしていく心
『もったいない』は、当社の合い言葉です。
■製鋼原料（鉄スクラップ・非鉄金属）
□産業廃棄物中間処理業
□産業廃棄物収集運搬業

鉄・非鉄屑売買
解体工事
産業廃棄物中間処理
株式会社門倉商店
〒239-0831 横須賀市久里浜1丁目2000番地
TEL046-834-1122番（代）
FAX046-834-3952番

影島興産株式会社
Kageshima Industries,Ltd.
www.kageshima.com
代表取締役社長 影島一吉
鉄屑加工処理・産業廃棄物中間処理
〈本社工場〉
横浜市神奈川区恵比須町7番地6
TEL045(461)5656　FAX045(461)5659
〈鈴繁シッピングヤード〉
横浜市神奈川区鈴繁町4番地　鈴繁埠頭
TEL&FAX045(461)0845
太陽金属株式会社
ステンレス屑・特殊金属屑売買
川崎市川崎区大川町13番5号
TEL 044(333)4011　FAX 044(333)4014

製鋼原料
岡田商事株式会社
取締役社長 岡田好昭
本社 〒130-0026 東京都墨田区両国一丁目十一番五号
電話 東京（3632）2111（代表）
ファックス（3632）1009
千葉工場 〒120-0024 東京都足立区千住関屋町十八番一号
電話 東京（3882）1171（代表）
ファックス（3882）1174